

主題：
聖書の中の極めて重要な命の啓示

メッセージ 16

わたしたちが命の中で支配するための神の完全な救い

聖書：ローマ 5:10, 17, 21

- I. 神の法理的な贖いは、神の全体的な救いの法理的な面であり、十字架上のキリストの贖いの死によって（エゼキエル 18:4, 20. ローマ 6:23. ガラテヤ 3:13. I ペテロ 2:24. II コリント 5:21. ヘブル 9:12）、神の義にしたがって（ローマ 1:17 前半. 3:21-26. 9:30-31）、罪人のために彼の義なる律法のすべての要求を満たすことによってです：
- A. それは、肉体におけるキリストによって（ヨハネ 19:30）、キリストの地上の務めの物質的な領域において達成され、客観的に次のような項目という結果になります：
1. 信者の罪の赦し——ルカ 24:47. エペソ 1:7. 詩 130:4. ルカ 7:47。
 2. 信者の罪を洗い去る——ヘブル 1:3。
 3. 信者を義とする——ローマ 3:24-25。
 4. 敵であった信者をご自身に和解させる——ローマ 5:10 前半、参照、ヤコブ 2:23。
 5. 信者を地位においてご自身へと聖別し、彼の聖なる民とする——I コリント 1:2. ヘブル 13:12. 10:29。
- B. 神の法理的な贖いは、神の全体的な救いの過程であり、それは信者が神の全体的な救いの目的としての神の有機的な救いにあずかるためです——ローマ 5:21。
- II. 神の有機的な救いは、神の全体的な救いの有機的な面であって、神の救いの目的としての神の命を通して（1:17 後半. 使徒 11:18. ローマ. 5:10 後半, 17 後半, 18 後半, 21 後半）、神の神聖な命を通して（創. 2:9. 啓. 22:14）神のエコノミーにおいて信者たちの中で神が到達することを願うすべてを完成します。神の有機的な救いのすべての項目は、命を与える霊としてのキリストによって、彼の天の務めにおいて有機的に、また主観的に遂行されます（I コリント 15:45 後半. ローマ 8:10, 6, 11）：
- A. 再生は、神聖な命の増殖です：
1. 再生は、神の救い全体の中心であり、神の救いの有機的な面の開始です。
 2. 再生は神の霊によって、信者たちの霊の中で彼らを贖って、彼らを神聖な命と性質を所有し新しい霊を持つ新創造としました——ヨハネ 3:6 後半. II コリント. 5:17. Iヨハネ 5:11-12. IIペテロ 1:4. エゼキエル 36:26。
 3. キリストの復活を通して、彼はご自身の命を彼の選ばれた者たちの中へと分け与えて、彼らが神の子供たちとなる権威とし、神から生まれさせ神聖な種族とならせました——Iペテロ 1:3. ヨハネ 1:12-13。
 4. 再生を通して、信者たちは、彼らの天然の、人の命に加えて、永遠の、神聖な神の命を持ちます——3:15, 36。
- B. 牧養を通しての養いは、神聖な命の養いです：
1. 養いは、キリストがはぐくみと養いによって彼の羊の群れを牧養することを通しての再生の継続であり、それによって彼の羊は神聖な命において成長して円熟に至ります——エペソ 5:29. ヨハネ 10:10-11, 14-16. 21:15-17. ヘブル 13:20. Iペテロ 5:4. 2:25. 参照、創 48:15。
 2. 養いは、彼の新しく生まれた赤子（新しい信者）を養い、言葉の乳の供給を通して徐々に彼らを成長させ、救います——I ペテロ 2:2。
 3. 養いは、彼の成長している信者たちを義の言という堅固な食物で供給します。義の言は、神が経綸上また行政上彼の民を対処することにおける神の公正と義についての深い思想を具体化します——ヘブル 5:12-14。
 4. 養いは、信者たちが神聖な命において円熟して、キリストのかたちにとり変えられ、同形化されるという結果になります——II コリント 3:18. ローマ 12:2. 8:29。
- C. 性情の聖別は、信者たちを神聖な性質で構成します——IIペテロ 1:4. エペソ 5:26. ヘブル 2:10-11. Iテサロ

ニケ 5:23-24 :

1. このように信者たちを内側で神の聖なる性質をもって構成することは、聖霊、命の霊が彼らの性情において働くことによります——ローマ 15:16. 8:2。
 2. 信者たちは、神の神聖な、聖なる性質で聖別される、神へと聖とされ、こうして神が彼らを選ぶことにおける目的を成就します——エペソ 1:4. Iペテロ 1:15-16 :
 3. 性情の聖別は、造り変えを暗示し、究極的に聖なる都としての新エルサレムにおいて現されます——ローマ 6:19, 22. 啓 21:2, 10。
- D. 更新は、神の新創造の過程であり、信者たちを彼らの新しい要素としての神で構成します :
1. 更新は、再生の洗いの継続であり、神聖な命で再調整し、造り直し、作り変えます——テトス 3:5。
 2. ミングリングされた霊は、信者たちの思いの中へと広がり、こうして彼らの思いの霊となって彼らを更新し、彼らを新しい人の構成要素とします——エペソ 4:23-24。
 3. 更新は信者たちが命の新しさの中を歩き、復活したキリストの霊において霊の新しさの中で仕えることによります——ローマ 6:4. 7:6。
 4. 更新が起こるのは、信者たちの環境上の苦難による消耗を通してであり、また復活の命としてのキリスト新鮮な、日ごとの供給を通してです——IIコリント 4:16。
 5. 信者たちは徹底的に、完全に更新されて、実際に神の真の新創造となり、最終的に彼らを新エルサレムのように新しくします——5:17. ガラテヤ 6:15. 啓 21:2。
- E. 造り変えは、神聖な命における新陳代謝的な過程です :
1. それはどんな種類の外側の矯正や調整でもなく、ある種の神聖で奥義的な新陳代謝であり、キリストの神聖な命を信者たちの存在の中へと加えることによって、キリストのかたちにおいて外側で表現されます——ローマ 12:2。
 2. それが完成されるのは、信者たちが心を主に向け、覆いのない顔をもって主を見つめることによってです。それによって主なる霊（霊なるキリスト）は、彼らをキリストの栄光のかたちへと造り変えることができます——IIコリント 3:16-18。
 3. 信者たちはその霊（ガラテヤ 5:16, 25）によって生き、歩くべきであり、ミングリングされた霊（ローマ 8:4）にしたがって歩くべきです。それはキリストの神聖な霊が彼らを規制し、彼らを栄光の主のかたちへと造り変える道を持つためです。
- F. 建造は、神聖な命の中で共に結合され、組み合わされることです :
1. わたしたちがあらゆることでキリストをかしらとするとき、またわたしたちがすべての事で彼の中へと成長し込むとき、彼の命の豊富が供給され、彼から何かを受けてからだの他の肢体の中へと注入します——エペソ 4:15-16。
 2. キリストのからだを建造することは、命を与える霊としてのキリストを聖徒たちの中へと供給して、彼らをキリストの中へと成長させることです——IIコリント 3:6, 8. Iコリント 14:4 後半. ヨハネ 7:37-39。
 3. わたしたちは聖徒たちが主を享受し、主によって養われるように助けなければなりません。それによって彼らは成長することができます——ピリピ 1:25. IIコリント 1:24。
 4. キリストのからだを建造することは愛の中であり、愛によってです。これがキリストのからだとしての召会を建造して、聖なる都、新エルサレムの建造を究極的に完成することです——Iコリント 8:1 後半. マタイ 16:18. エペソ 4:16. 啓 3:12. 21:10-11。
- G. 同形化は、神聖な命の円熟です :
1. 同形化は、信者たちの命における造り変えの究極的完成です。
 2. 同形化は、信者たちが神・人として命において完全に成長した人となることによって、神の長子のかたちに同形化されることです——ローマ 8:29。
 3. 彼らはキリストの復活の力を通して（ピリピ 3:10. 雅 2:8-9, 14）、すべてのことでキリストの死に同形化され、神・人であるイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通してキリストを生き、彼を大きく表現します——ピリピ 1:19-21 前半。
 4. 同形化は、信者たちが神・人であるキリストの複写となり、それによって信者たちはまさに神の長子である

る彼ようになります——Iヨハネ 3:2。

H. 栄光化は、神の全体的な救いの完全な現れです：

1. 神は再生において、再生された信者に彼の霊で証印を押して、贖いの日へと、すなわち彼らの栄光化の日へと至らせます——エペソ 1:13, 4:30. ローマ 8:23。
2. 円熟した信者たちが栄光化されるのは、内側から神の栄光で浸透——エペソ 4:30. IIテサロニケ 1:10. Iテサロニケ 2:12. Iペテロ 5:10. ローマ 8:23, 30. ヘブル 2:10。
3. 栄光化は、信者たちが彼らの体の贖いを享受することです。それは主の再来の時に彼らの体の変貌することです——ピリピ 3:20-21。
4. 栄光化を通して、神は彼の永遠の定められた御旨である新エルサレムが神の栄光を持っていたことの成就を実現します——啓 21:9 後半-11。

III. 神の有機的な救いの経験は、キリストの命の中で王として支配することに等しいのです——ローマ 5:17, 21：

- A. わたしたちは神聖で、霊的で、天的で、王的な、王の命をもって再生されました——マルコ 4:26. Iヨハネ 3:9。
- B. ローマ第 5 章における命の中で王として支配することは、ローマ第 6 章から第 16 章におけるあらゆることのかぎです。もしわたしたちが命の中で王として支配するなら、これらの章において提示されているすべての事柄の中にいます。
- C. 経験において命の中で王として支配することは、神聖な命の支配の下にいることを意味します：
 1. キリストは、御父の神聖な命の支配の下にいることによって、命の中で王として支配することの模範です。命の中で王として支配するために、わたしたちは神聖な命に服従しなければなりません——マタイ 8:9。
 2. パウロは彼の生活と務めにおいて、神聖な命の支配の下にいた人の模範です——IIコリント 2:12-14。
 3. あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受けるすべての信者は神聖な命の中で制限を実行する必要があります。
- D. わたしたちが命の中で王として支配し、神聖な命の支配の下で生きることは、召会生活の中で表現される実際に実行上のからだの生活です——ローマ. 12:1-4, 9-12, 15, 18。
- E. 命の中で王として支配することは、「永遠の命に至るためです」——5:21：
 1. ヨハネ第 4 章 14 節後半の「へと」（ローマ第 5 章 21 節の「に」）は、目的地について語っており、また「になる」あるいは「である」を意味します。
 2. 永遠の命は最終的に新エルサレムとなります。新エルサレムは神聖な命の総合計、神の命の総合計です。
 3. 新エルサレム神性と人性との結合とミングリングからなる宇宙的な合併であり、わたしたちが命の中で王として支配することの結果であり、目標です。